

【From Kobe 2021 新緑の5月】

2021 新緑 5月の風 うまい空気を胸いっぱい 厳しい春を前向いて  
神戸籠りの春 風来坊のPhoto Album 心やすめになれば

- 収録 1 コロナ禍の中で 大音響の五輪PR隊 約800m 聖火ランナーは脇役か?  
2. どうなるポストコロナの日本 元京大総長 山際寿一氏のオピニオンです  
3. ポストコロナの社会構築理解のために 胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体



新緑に包まれて 山は山は芽吹いて 今一番の春景色 吹き来る風も心地よし 2021.4.21, 但馬養父市 氷ノ山山麓で



菊水山から眺める西六甲縦走路の山々から明石海峡・淡路島へ  
左から高取山・須磨アルプス・鉄塊山・鉢伏・旗振山



但馬 朝来市竹田山下 円山川沿いに広がるレンゲ畑 2021.4.21



## 兵庫リレーカーニバル 2021.4.24.&25.

神戸総合運動公園 ユニバー競技場で

コロナ禍の中でどうなるかと思いましたが、

毎年春を呼び込むリレーカーニバル

いつもの歓声はないが、新緑に包まれ、

ツツジが美しい気候競技場で 若者たちが快走

私はいつもの場外特等席 母校の後輩たちも元気に走っていました

ワクチン接種のめども立たし、コロナ収束 みんなの願い

仲間に出会いたいなあと思いは募りますが、まだ自制がつく

新緑の神戸須磨 神戸籠りが続きますが、

相変わらずの風来坊 春のアルバム届けます

どうか まだまだ 高齢の身には厳しい我日々 でも仲間もいる

無理せず体調変化に気を付けて スクラム組んで 前向いて

God Be With Ypu!!

2021.5.5. From Kobe Mutsu Nakanishi







マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした～い  
 期待のワクチン接種も見通しが立ち始めた5月  
 コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ 気分も新た  
 みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで

God be with You !! 2021.5.5. From Kobe Mutsu Nakanishi



満開の桜が散ると野山は芽吹きから新緑へ 山腹の濃淡をだんだん増してゆく。  
 その中に山桜の薄ピンクそして、常緑の杉林がアクセントとなって、一日一日その化粧を変えてゆく。  
 山に入るともう三つ葉ツツジが満開。また 山から眺める景色も風によって千変万化 いつ見ても飽きない。  
 今年はコロナで 春の妖精カタクリに出会いに行けず、またシャクナゲの花も見に行けなかったのですが、毎日の散歩で楽しむ街歩き・里山歩き。楽しんでいます。孫に教えてもらった山スタンプ歩きもうれしいし目的に。



庭では春の草花 門前では4月の末から背の高い薄ピンクのアグロステンマの花も咲きだして、うれしい満開。 庭も我が家もパッと明るく華やかに。風来坊とはいえ、一日一日 やることがあって、前向きにとらえられるのがいい。また、仲間に会えないのはつらいですが、古いアルバム整理や断捨離などしていると思わぬ掘り出し物や発見も。



自分の記憶がおぼろげになってゆく中で、歩いてきた道を見直すいい機会にも。また、先に逝った仲間との思わぬ再開も。独りよがりですが、記録しておくことは自分を正す良い機会に。  
 どうせ 整理しても誰に残さねばならぬわけでもなしですが、多くの出会いなど思い浮かべながらの整理も重要な生活の一部に。  
 コロナのワクチン接種の申し込みもぶつづつありますが、何とか申し込み完了できてやれやれ。  
 今 また緊急事態宣言で子供たちや学生たちの姿が消え、街はまた火の消えたよう。  
 でも もう少しとがんばらねば・・・・・・・・。  
 そんな 神戸ごもり 今日この頃です。

ついぞ見かけなくなったレンゲ畑。近くで田を見かけると探すのですが、見つけれず。でも生野峠を越えて但馬にはいた円山川沿い竹田城下の田園で見つけました。 今年も蓮華畑に出会えて幸せ。

今月は何をとあれ、4月積み残した京都の桜見物。そして、4・5月の春の明るい息吹が伝えられたらと。

新緑の5月 コロナ禍の中 神戸の籠りの合間の風来坊 写真アルバムのかたちで、詳細は掲載記事で見ていただくことに。

コロナのこともいろいろあるが、愚痴は言うまい。何はともあれ、コロナに負けぬよう。前向いて新しい時代へ 一歩 踏み出しましょう。いつもありがとうございます。



■ 新型コロナ感染蔓延の神戸籠りの合間に この春出かけた近隣のマスクwalk  
 Photo Album とスライド動画にして楽しむ  
 <桜満開の京都 と東山不思議の狸谷不動院・瓜生山> 21.3.30. & 3.31.



老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代  
 いつも困難の中にある仲間にも 思いをはせています  
 周りの山は芽吹いて 新生の息吹 5月の風  
 うまい空気を胸いっぱい  
 気分も新た 元気出していきましょう

高齢者にはまだまだ厳しいコロナ収束  
 仲間がいる 仲間の笑顔を活力に!!  
 無理せず、体調変化に留意して毎日を!!  
 がまんせず 時には声上げて スクラム組んで 今を元気に!!

2021.5.5 From Kobe Mutsu Nakanishi





【From Kobe 新緑の5月

## 収録 1. ■ コロナ禍の中で 大音響の五輪 PR 隊 約 800m 聖火ランナーは脇役か？

下記にインターネットに掲載された写真と五輪聖火リレーに関する記事を示す。

### 垣間見える商業五輪の醜さ スポンサーで成り立つ聖火リレー

2021 年 5 月 3 日 06 時 00 分 東京新聞



聖火ランナーを先導するスポンサー企業の車列＝三重県伊賀市で

47都道府県で人口が最も少なく、県内総生産も最小の鳥取県。

平井伸治知事（59）が、首都東京の五輪の聖火リレーを「アメリカナイズされた大騒ぎ」と評している

#### ◆派手な車列に大音量の音楽 東京基準は非合理的

聖火リレーは、約30台の車列が約800メートル続く。ランナーを先導するのは、大会スポンサーとなった企業の大型宣伝車。大音量で曲を流し、車上のDJ（ディスクジョッキー）が興奮を盛り上げる。

新型コロナウイルスの感染拡大のさなか、有名人ランナー目当てに集まる人々に企業がグッズを配り、群集の「密」も生じた。

4月、本紙のインタビューに応じた平井知事の口調は穏やかだが辛口だった。

東京・秋葉原で生まれ育ち「東京の感覚は分かる」とした上で、「全国のリレーを東京基準で作るとするのは合理的ではないのではないか」「地域になじむやり方がある」「商業主義と五輪の理想の調和を保つべきだ」と説いた。

でもこんな風に五輪聖火リレーが行われているなどテレビにも大新聞には全くでていない。

特にNHKは 毎日聖火リレーの様子を報道するが、こんなどんちゃん騒ぎの隊列が延々800m も続くという。

まったくのホウカムリ。コメントもなにもなし。 何ででしょうか……・

聖火ランナーが聖火を粛々と800m も後でまるでトカゲのしっぽが如くに走ってゆく。

オリンピックの理念も当初東京五輪の目的「復興五輪をテーマに日本を世界に示す」とした内容もまったく示されぬまま、大音響の隊列はお祭りもりあげ隊 自己宣伝隊。まるでカーニバルの隊列としか考えぬ大隊列が進んでゆく。

オリンピックの精神などそっちりけの隊列だという。いわゆるお上に逆らわぬ昔の大名行列のお通りだ。

これが令和の日本の現状だ。しかもコロナ感染が拡大するさなかである。

スローガンと行動が全くかけ離れた商業主義の隊列が行く。もう口あんぐり。こりゃ 誰もついてゆかんわと。

もう 五輪は中止したら……………と。

2021.5.3 by Mutsu Nakanishi



## 収録2 収まらぬコロナ禍の中で どうなるポストコロナの日本

地球環境問題がいろいろ論議されている中で あまりにも利己的な近視眼的視点が中心ではないか  
現代人が忘れ去り、無視してきた豊かな自然都人との絆 元京大総長 山極寿一氏のオピニオンです  
2021.4.28. 神戸新聞 朝刊 13面【オピニオン】言論より

# 豊かな自然と人との絆、故郷を選ぶ基準に

## 現論

総合地球環境学研究所長

山極寿一



やまぎわ・じゅいち 1949年東京生まれ。京都大学大学院博士課程修了。アフリカ各地でゴリラの野外研究や保護活動に取り組む。国際霊長類学会会長、京都大学長、日本学術会議会長などを務め、4月から現職。著書に『家族進化論』、『ゴリラからの警告』など。

地球環境問題はますます深刻度を強めている。干ばつと異常な豪雨、山火事など、とりわけ日本は自然災害に見舞われやすい。その原因が地球の平均気温の上昇にあることは明らかで、日本もようやく重い腰を上げて、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを宣言した。

しかし、再生可能エネルギーへの転換や電力システム改革など、実現への道は険しい。プラスチックの利用規制や食品廃棄物の減少などの課題もある。これらを法や制度の規制だけで乗り切れるとはとても思えない。

向へ人々を導いてきた。その結果、個人はバババになつて頼るべき人々の輪を失い、保険や社会保障制度などに頼るしか自分や家族を守れなくなっている。さらに、戦後ずっと人々の労働と暮らしを支えてきた企業が壊れ、生涯にわたって身を預ける組織ではなくなってきた。

明治以来、立身出世を目指して都会に出てきた若者たちを引き寄せ、血縁も地縁も薄くなつた人々をつなぎとめてきた村縁までも崩壊しようとしているのである。根無し草のまじなうた人々が自分の利益や安全しか考えず、互いに非難し合つて生きていくようになれば、日本全体で環境倫理を推進していくような事業は不可能になる。いったい私たちはどこに自分のアイデンティティを求め、何を指標に未来を構想したらいいのだろうか。

この正月、久しぶりに山屋三善という詩人の「アミズム」という希望」という書を読み返してみた。1970年代に私が鹿児島県の屋久島で「ミサザル」の調査を始めたころ、インド放浪の旅を終えて家族が屋久島の山中に居を構え、畑を耕しながら詩作に励んでいた。屋久島の自然が文化を未来へ残そうと一緒に勉強を始めた。

当時、三善さんは、部族という団体を立ち上げ、自ら共生する新たな暮らしを模索していた。この本は彼が亡くなる2年前の99年に、琉球大学で5日間わたつて行った講義の記録である。読んでみて、今の時代にひびくことが書かれているのに気づいた。

### 消費と生産変える

唯一の解決策は、現代の大量生産・大量消費の傾向を変えることである。現代の自由主義経済と科学技術は個人の欲望を發揮させ、その能力を拡大する方

### 故郷となる場所

三善さんは、士とともに生き

よ、と書く。土は地球そのものであり、生物が地球といっしょに作ってきた共同の財産でもある。そこに森羅万象が宿る。そのなかに自分の好きなものができるとき、それがカミである。美しいもの、喜びを与えてくれるもの、安心を与えてくれるもの、慰めを与えてくれるもの、畏敬の念を起させるもの、そういうものは何でもカミであり、現代においてもそれはいささかも変わらない。

それらのカミと自分が調和して一つに融合した時に、まじどの自分が現れる。それを見つけていくのが万物に魂が宿ると考えるアミズムの新しい時代の形だと言っている。三善さんとかつて日本で活動をもとにした米国の詩人ケリー・スナイダーは、その後、カリフォルニア州のシエラネバダ山中に住み、バイオリジオナリズム（生命地域主義）を實踐し始めた。三善さんと同じように、好きな土地を決め、その土地を構成するすべての生き物と共生する「ミニマライ」をつくり上げようとする活動だ。

屋久島では三善さんの志を継いで暮らしている人たちがいる。スナイダーもロサンゼルス郊外の河川流域に活動の輪を広げている。それは、これからの時代にこそ適した生き方かもしれない。

新型コロナウイルスによる感染症でこの1年、私たちは地域に籠つて暮らしてきた。果たして、それが自分の好きな場所であること、カミが宿る場所であることを確認できただろうか。これからの時代は、人々が新たに自分の故郷となる場所を見つけていくことになる。

労働条件や親族の絆だけが住む場所を決定する要件ではない。豊かな自然と安心を与えてくれる人々とのつながりが新しい基準となる。環境倫理はそれを求める過程で必然的に心宿る。新しいアミズムがその鍵を握っていると私は思う。

◇敬称略。原則毎週木曜日に掲載します。

### 収録3. ポストコロナの社会構築理解のために 胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体 よく知りませんでした。



テレビを見ていて、国会議員や財界の偉い人などが胸につけているカラフルなドーナツ状のバッジに目が留まり、なんだろうと。街でも見かけたことがある。

多分 東京五輪・パラリンピック関係か、ライオンズクラブやロータリークラブみたいな団体のバッジだろうと。それにしてもカラフルだ。こんなセンスなかなかないと思うのですが、それをつけている人物・・・と。ところが、Amazon で売っているのをみつけ、また、ほかでも・・・。  
これはいったいなんと。



みんな知ってる「SDGsのバッジ」だそうだ。  
また英語か・・・と。でも誰でも知っているという。

2015年9月に国際連合加盟国が採択した

「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」を指す「SDGs」のバッジだと知りました。

そんなふるくからあるのか？

最近コロナが流行しだし、政府が低酸素社会・持続可能型社会を目指すと言い出してから、急によく見かけるようになった。

小学生の孫たちがやってきて、「SDGs」のバッジやと呪文のように目的を唱える。学校でみんな習っているのだそうだ。私だけがしらなかったのかもしりませんが・・・。

でも胸につけているえらい人たちはみんなバッジ17色の色の意味を理解してるのだろうか・・・

「カラフルでええなあ」だけでははいかんのですが・・・

これ知らなかった私の 負け惜しみです。

コロナ禍の中で、いろいろほころびが見えてきた日本。Post ポストコロナの新時代、日本の社会や働く現場を活力あるものにすることに、誰もが目を向けるべきヒントが持続可能な開発目標 (SDGs) の中に数多く含まれていると。

国連広報センターや外務省のホームページには下記概要記述がありました。 ご参考まで

「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」2015年9月に国際連合加盟国が決議採択

#### ■ 持続可能な開発目標 (SDGs) について

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

#### ■ 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に 向けて日本が果たす役割

SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs\\_gaiyou\\_202103.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202103.pdf)

インターネットの検索より



2015年9月に国際連合加盟国が採択した  
持続可能な開発目標 17項目  
(Sustainable Development Goals)」